

べっふ 市議会だより



©Team Beppyon

No.155
2021.5.1

“市民福祉の増進を図り、共生社会実現に向けた取組を進める”

CONTENTS

- P 2 主な議案の概要
- P 3 議決結果
- P 4 議案質疑・常任委員会審査
- P 5 予算決算特別委員会（令和3年度当初予算審議）
- P 6～11 一般質問（16名が市政を問う）
- P12 副議長就任、委員会等の構成、編集後記 ほか



令和3年第1回定例会で41の議案を可決!

3月1日から23日までの23日間にわたり開催された今定例会では、予算関係16件、条例関係16件、その他4件の議案が上程されました。

また、最終日には市長より追加議案として、人事案件3件、さらに議会より、議員提出議案2件、議員派遣1件が上程されました。

市長提案理由では、高齢者の方々を対象とした新型コロナウイルス感染症のワクチン接種開始に向けての説明に加え、デジタルファーストの取組として、住民票の写しや印鑑登録証明書などをコンビニ

エンスストアで取得するための経費の計上等について説明があり、「新型コロナウイルスワクチン接種に要する経費」「証明書等コンビニ交付に要する経費」等の関連議案については、議案質疑及び予算決算特別委員会で活発な議論が行われました。

採決においては、4件の議案について、一部議員から反対する旨の意思表示があり、そのうち議員提出議案1件が否決されました。その他の議案については、すべて原案のとおり可決等すべきものと決定しました。

～主な議案の概要～

●一般会計補正予算(第13号)3月定例会

※表中の金額は、1万円未満の額を切り捨てて表示しています

新型コロナウイルスワクチン接種に要する経費・・・・・・・・・・11,800万円

接種体制の確保に必要な費用について、地方負担が生じることがないように、国がワクチン接種に係る費用の全額を負担する方針を示したことに伴い追加します。

小学校の運営に要する経費・・・・・・・・・・1,560万円

中学校の運営に要する経費・・・・・・・・・・880万円

幼稚園の保健衛生に要する経費・・・・・・・・・・520万円

国の補助金を活用し、幼稚園・小学校・中学校において、新型コロナウイルス感染症対策に必要な保健衛生用品を購入します。

●条例の制定及び一部改正

別府市職員の退職管理に関する条例の制定について

地方公務員法の規定に基づき、再就職者による依頼等の規制、任命権者への届出等を定める条例を制定しようとするものです。

別府市共生社会実現推進基金条例の制定について

こども、障害者、高齢者等広く市民福祉の増進を図り、共生社会の実現に寄与する施策の財源を確保するため、基金を設置するものです。

別府市成年後見制度の利用の促進に関する条例の制定について

成年後見制度の利用の促進を図るため、条例を制定しようとするものです。

別府市国民健康保険税条例の一部改正について

国民健康保険税の基礎課税額の所得割額を算定するための税率を1.5%引き下げることに伴い、条例を改正しようとするものです。

●その他

新型コロナウイルスのワクチン接種に関する迅速な情報公開等を求める意見書

安心・納得してワクチンを接種するため、政府に対し迅速な情報公開等を求める意見書を提出しました。

第1回定例会における議案等の審議結果など

議案等番号	件名	議決結果	議案等番号	件名	議決結果
議第1号	令和2年度別府市一般会計補正予算(第13号)	原案可決 (全会一致)	議第22号	別府市立学校の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第2号	令和2年度別府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)		議第23号	別府市成年後見制度の利用の促進に関する条例の制定について	
議第3号	令和2年度別府市競輪事業特別会計補正予算(第4号)		議第24号	別府市国民健康保険条例の一部改正について	
議第4号	令和2年度別府市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)		議第25号	別府市国民健康保険税条例の一部改正について	
議第5号	令和2年度別府市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)		議第26号	別府市介護保険条例の一部改正について	
議第6号	令和2年度別府市水道事業会計補正予算(第1号)		議第27号	別府市指定地域密着型サービスの事業に係る申請者の要件並びに人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	
議第7号	令和2年度別府市公共下水道事業会計補正予算(第1号)		議第28号	別府市指定居宅介護支援の事業に係る申請者の要件並びに人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	
議第8号	令和3年度別府市一般会計予算	原案可決 (賛成多数)	議第29号	別府市指定地域密着型介護予防サービスの事業に係る申請者の要件並びに人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	原案可決 (賛成多数)
議第9号	令和3年度別府市国民健康保険事業特別会計予算		議第30号	別府市指定介護予防支援の事業に係る申請者の要件並びに人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	
議第10号	令和3年度別府市競輪事業特別会計予算	原案可決 (全会一致)	議第31号	別府市都市公園の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決 (賛成多数)
議第11号	令和3年度別府市公共用地先行取得事業特別会計予算		議第32号	別府市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第12号	令和3年度別府市地方卸売市場事業特別会計予算		議第33号	指定管理者の指定について	原案可決 (賛成多数)
議第13号	令和3年度別府市介護保険事業特別会計予算		議第34号	別府市湯山コミュニティセンターの長期かつ独占的な利用について	原案可決 (全会一致)
議第14号	令和3年度別府市後期高齢者医療特別会計予算		議第35号	市道路線の認定及び廃止について	
議第15号	令和3年度別府市水道事業会計予算		議第36号	市長専決処分について	同意 (全会一致)
議第16号	令和3年度別府市公共下水道事業会計予算		議第37号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて(佐藤 久美子)	
議第17号	別府市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について		議第38号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて(早崎 久砂美)	原案可決 (全会一致)
議第18号	別府市職員の退職管理に関する条例の制定について		議第39号	監査委員の選任につき議会の同意を求めることについて(手束 貴裕)	
議第19号	別府市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について		議員提出議案第1号	新型コロナウイルスのワクチン接種に関する迅速な情報公開等を求める意見書	原案可決 (全会一致)
議第20号	別府市共生社会実現推進基金条例の制定について	議員提出議案第2号	国立病院の機能強化を求める意見書	原案否決 (賛成少数)	
議第21号	別府市手数料条例の一部改正について	報告第1号	市長専決処分について	報告	
			議員派遣	原案可決 (全会一致)	

賛否の分かれた議案等賛否一覧表

議案番号	件名	議決結果	会派・議員名																							
			自民党議員団 11人											公明党 4人		自民新公会 3人		市民クラブ 3人		日本共産党議員団 2人		参議院議員 1人				
			首藤正	河野哲	野口男	松川峰生	黒木愛郎	松川章三	安部一三	手束真裕	阿部真一	日名敦子	榎田真行	堀本隆生	市原卓雄	荒井宏二	穴井宏二	山本一成	森野大輔	小野正明	加藤信康	森山治	三重忠昭	平野文昭	美馬活子	泉武弘
議第8号	令和3年度別府市一般会計予算	可決(多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第31号	別府市都市公園の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決(多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第33号	指定管理者の指定について	可決(多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第2号	国立病院の機能強化を求める意見書	否決(少数)	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	

議案賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「-」、欠席者は「欠」、議長は「/」(採決に加わらない為)、法律により採決に加われない議案は「除」

議案質疑

今定例会の議案質疑では、執行部が提出した令和2年度各会計補正予算や条例などの議案に対し、5名の議員が質疑を行いました。そのうち主な質疑内容を掲載します。

新型コロナウイルスワクチン接種について

問 ワクチン接種はどのように行われるのか。

答 65歳以上の方のワクチンの接種については、4月下旬より、各医療機関にて行う「個別接種」を主として行う予定です。これは、高齢者にはかかりつけの医師がおり普段の健康状況が把握されていること、副反応によるアナフィラキシーショックなどにも、医療機関であれば迅速に対応できることなどが期待されるからです。

また、ワクチン接種には、事前にインターネット予約やコールセンターにおける電話予約が必要となりますが、ワクチンの供給量によって、開始時期が変更となることが見込まれますので、3月中旬までには、相談や接種予約を受け付けるコールセンターを設置し対応してまいります。

常任委員会審査

本会議での提案者の説明及び質疑が終了した後、さらに詳しく検討するため、常任委員会等に議案審査を付託しています。

各常任委員会に付託された全ての議案について、賛成多数で原案のとおり可決(承認)すべきものと決定しました。

● 総務企画消防委員会

「議第1号 令和2年度別府市一般会計補正予算」関係部分では、新型コロナウイルス感染症による事業の凍結等に対し歳出予算を減額するものであるとの説明がありました。

委員からの、本年度及び来年度における市税の減収が懸念されるが、その見通しについてはどうかとの質疑に対し、当局から、本年度の減収については減収補てん債の発行などで対応し、来年度は、歳出の抑制を図り、予算を編成したものであるとの説明がありました。

別府市職員の退職管理に関する条例の制定について

問 退職者に対し強制力のある条例が成立するのか。

答 働きかけの規制については、地方公務員法で既に定められている職員の働きかけ規制と同じく、違反した場合、1年以下の懲役または50万円以下の罰金が適用されます。

また、再就職先の届出義務については、違反した場合、10万円以下の過料が適用されますので、いずれも強制力を持った内容となっています。

問 「契約等事務に関し職務上の行為を要求又は依頼してはならない」となっているが、具体的に何を指すのか。

答 職務上の行為として、別府市が行う売買、賃借、請負、その他の契約や許認可、その他の処分が含まれます。このような契約や処分について、再就職先が有利になったり処分が軽くなったりするような便宜を図るよう働きかけをしてはならないという内容です。

● 観光建設水道委員会

鉄輪地獄地帯公園に新たに「小倉エリア駐車場」を設置することに伴う条例改正や同駐車場の指定管理者の指定について説明がありました。

委員からの、指定管理制度の運用について、外部行政運営評価委員会から「指定管理者の内部留保等の残高情報を把握し、過大な超過利益が発生している場合には、市からのけん制を検討する。」との評価結果が出ていることから、同駐車場においてもその点留意してほしい旨の要望に対し、当局から、同制度の運用ガイドラインにおいても余剰金に関しての規定があるため、指定管理者との協定書に定め、状況に応じて協議していきたい旨の答弁がありました。

● 厚生環境教育委員会

新型コロナウイルス感染症対策を優先することを目的として、「学校屋内運動場改修工事」等の事業を先送りしたことに伴い、減額補正しているとの説明がありました。

委員からの、その理由に関する質疑に対し、当局から、不急の工事計画の見直しに加え、夏季休業の短縮に伴い、工期の確保が困難であったことが要因である旨の答弁がありました。

予算決算特別委員会（令和3年度当初予算審議）

予算審議と決算認定審査の循環性を確保するため、予算決算特別委員会を開催し、令和3年度の当初予算について、慎重な審議を実施しました。主な内容は次のとおりです。

▶当初予算編成方針等について

21年ぶりに財政調整基金を取り崩すことなく、実質的な収支均衡予算が編成されている。引き続き、歳入歳出の改善に取り組み、収支の均衡を図りながら健全な財政運営に努めること。

▶歳入について

新型コロナウイルス感染症の影響で、市税の大幅な減少が見込まれ、市政運営においても非常に厳しいものとなることが予想される。新たな自主財源の確保は喫緊の課題であることから、新税導入を含めた新しい自主財源のあり方について、調査研究していくことを求める。

また、地方債については、今後も大型事業実施に伴う地方債の増加が見込まれるが、既に近年の大型事業の実施などにより、公債費は増加傾向にある。地方債に関する財政指標は他団体と比較して良好な状況との説明があったが、公債費の増加は財政負担となり、市民の不安につながることから、後年度の財政運営に支障をきたさないよう適切に管理を行うよう求める。

さらに、基金については、引き続き適切に管理を行うとともに、不測の事態に備え、中長期的な目標により基金残高を維持するとともに、将来の特定の財政負担に備える基金を確保し、長期に渡って持続可能な財政運営に努めること。

▶歳出について

引続き、全ての事業において事業効果の検証を行うとともに、大型事業の実施に関しては、全体の財政収支に影響を及ぼさないよう、事業の延伸や抑制を検討し、長期的展望で財政運営を図るよう求める。

また、高額な運営費補助金の交付については、効果の検証及び補助金交付の必要性について更なる検証を行い、厳格な見直し作業を行うことを求める。

コロナ禍における予算執行にあたっては、市民生活を最優先と捉え、事業の実施にあたっては、緊急

性や必要性を鑑み、適宜見直しを行う等、延期及び休止を含めた柔軟な対応を行うこと。さらに、事業の延期等により市民生活への影響が懸念される場合においては、その影響を最小限にするため、十分な説明や丁寧な周知を図る等、最大限の配慮を行うよう求める。

今後懸念される想定外の経費やワクチン接種開始に伴う経費の発生が見込まれるが、必要な場合は柔軟かつ迅速な対応を行うとともに、議会への報告を求める。

浜脇中学校跡地利活用事業について、早期に着手することは高く評価するが、事業の実施にあたっては、地域の歴史や自然環境を踏まえ、地域住民の要望等に配慮するとともに、説明や周知を十分に行うよう求める。

マイナンバーカード交付事業及び証明書等コンビニ交付事業では、マイナンバーカードの交付率が低いことから、コンビニ交付の利便性について市民へ十分な広報を行うとともに、目標設定を行いその交付率上昇を図ること。あわせて、コンビニ交付による効果の検証を行うことを求める。

自立相談支援事業及び住宅確保給付金事業では、収束時期が見通せないコロナ禍において、受付件数の増加がみられる。相談者のニーズに沿った柔軟な対応を行うことを求める。

別府市観光協会運営費補助金については、協会における事業実施体制を確認しながら、慎重な予算執行を行うことを求める。

▶別府市共生社会実現推進基金条例の制定について

福祉サービス事業見直しの効果額を最大限に生かし、基金の目的である共生社会実現推進に向けた取り組みを進めるとともに、目的実現のために実施するバリアフリー調査事業において、当事者団体や関係各課との連携を図り整備計画を策定すること。

さらに、民間事業者とも調整を行うことで、バリアフリー化を推進し、もって、ユニバーサルツーリズムの実現に努めること。



一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。3月議会では16名の議員が市当局の見解をたしました。主な内容は次のとおりです。スマートフォン等で各議員のQRコードを読み取ることで、一般質問の録画中継にアクセスができます

自民党議員団

ます だ 槻 田
みつぐ 貢 議員



「朝見浄水場運転管理の業務委託」について

問 現在、業務を委託している会社は、先の贈収賄事件で問題となった会社である。問題がはっきりした時点で契約を解除するべきだったと思うが、どのように考えているのか。

答 先の事件により、多くの市民の皆様にご不信感を与えてしまい大変申し訳なく思っています。朝見浄水場運転管理につきましては、市民生活の影響を考慮すると業務委託の解除は難しいものと考えています。

問 契約は解除できない。従事者は真面目に働いている。だけれども「委託先を変更すべきである」と市民の方は思っているのではないか。民間企業では普通に契約打ち切りである。上下水道局は、今後の朝見浄水場運転管理について、どのように考えているのか。

答 水道は市民生活や都市の社会経済活動に欠かすことのできない重要なライフラインです。いかなる非常事態においても安全で良質な水道水を安定的に供給し続けることが水道事業者としての使命であると考えております。したがって朝見浄水場の運転管理についても、さらに委託業者への指導管理を行い、皆さんが安心できる体制に最大限努めます。

公明党

あな い こう じ
穴 井 宏 二 議員



「火山災害発生時の事前防災行動計画と要配慮者の避難対応」について

問 火山性地震は火山活動活発化のひとつの兆候とも言われており、2月には鶴見岳でも数回確認されているが、それについての見解と現在の別府市の要配慮者の方々への避難計画はどうなっているのか。

答 火山性地震は、マグマの動き、火山活動が

活発化すると多く発生する傾向があります。また災害時配慮を要する方の避難等の支援については、個々人の状況で支援のあり方が違い、法により秘密保持が義務付けられています。個別計画の作成については、インクルーシブ防災事業として、希望者を対象に年間20件作成することとしています。

問 鹿児島市は時系列による事前避難行動計画である防災タイムライン訓練を行っている。火山噴火を想定しての防災タイムライン訓練についての見解は如何か。

答 鶴見岳・伽藍岳火山避難計画は火口周辺までであり、これは入山規制までの計画ですので、これに基づく訓練は必要だと考えています。なお、現在、検討されている居住地域にかかわる火山避難計画（噴火レベル4～5）が策定されたのち、内容を地域防災計画に盛り込み訓練等の火山防災対策をすすめていきたいと考えています。

日本共産党議員団

み ま きょう こ
美 馬 恭 子 議員



「医療・介護関連」について

問 感染が落ち着いている今のうちに、PCR検査を希望する人が受けられる体制を広く作っていくことが必要だと考えるが如何か。

答 大分県が進める検査体制の状況やワクチン接種が開始されていくなか、大分県をはじめ医療機関の状況等、十分に把握しながら感染拡大の防止に向けた体制と備えに取り組んでいきます。

問 多くの人にワクチン接種を促進していくためには、どのような広報・周知を考えているか。

答 市報、市のホームページに加え、個別通知やテレビCMなど様々な方法が考えられます。正しい情報をわかりやすく提供できるように、適切な時期に適切な情報を市民の皆様にご提供できるようにしていきます。

問 ワクチン接種の際、特に基礎疾患の人に対する対応は医療機関にとっても難しいと考える。国は自己申告で記入するとしているが、お薬手帳などの持参も方法としては考えられないか。

答▶ 基礎疾患を持つ方への接種については、今後国から詳細な情報が提供されてくると考えていますが、各医療機関での個別接種を想定した場合、かかりつけ医でない医療機関での接種時に確認する方法としてはお薬手帳等の活用も有効な手段ではないかと考えています。

自民党議員団

のぐち てつお 野口 哲男 議員



「近・現代史等教育」について

問▶ 近現代史や北方領土、竹島、尖閣諸島等固有の領土が失われる事態が現実となっている。北方領土はロシアに占領され竹島は戦後の混乱に乘り李承晩ラインの設定と同時に韓国に占拠基地化されている。尖閣諸島は中国が領有権を主張し海警鑑船が武器使用も辞さずと大変危険な状況となっている。さらに中国韓国との歴史問題について検証すると元ソウル大学教授等が出版した「反日種族主義」に中国と韓国は息をつくように嘘をつく、歴史に嘘をつくことはできない、等々自国の文化歴史に対して勇気を持って事実関係を発表、ベストセラーとなっている。慰安婦も徴用工問題も捏造されたものと書かれている。現在中国韓国から教科書検定、靖国神社公式参拝、憲法、安保、司法等あらゆる面で干渉を受けている。このような問題は国内問題で日本の堅い決意一つで解決できる事柄であると指摘されている。解決を図るためには国を挙げて歴史問題等を検証し我々市民一人ひとりがしっかりと理解し将来を担う青少年が別府を愛し国を愛することができる誇りある教育に取り組む事が大事と考えるが如何か。

答▶ 学習指導要領に基づき、日本の歴史や領土についての学習が行われています。別府を愛し誇れるような教育を目指し、真の国際人として別府を羽ばたかせるためしっかり取り組んでまいります。

自民党議員団

ひなご あつこ 白名子 敦子 議員



「社会教育施設(中央公会堂)利用」について

問▶ 別府市公会堂の予約方法の改善策に対する

検討状況はどうなっているのか。

答▶ 窓口での予約を廃止し、「おおいた公共施設案内・予約システム(インターネットでの予約後、自動抽選)」のみの予約受付に変更しました。

問▶ 予約システムのみでの予約方法の場合、インターネットの利用が困難な方への対応はどうするのか。

答▶ 窓口にて職員が代理でシステム予約を行います。

問▶ 抽選に外れた場合は再度窓口へ予約に行かなければならないのか。

答▶ 1回の予約で第3希望まで予約を入れることが可能です。できる限り利用者のご不便にならないように改善を行っていきます。

問▶ 予約方法の変更はいつから開始するのか。

答▶ 4月1日より実施します。

問▶ 予約方法変更の周知方法は。

答▶ 市報3月号でお知らせしています。また、利用者向け説明会や窓口でも詳しく説明してまいります。

問▶ 公会堂改修の内容とスケジュールはどうなっているのか。

答▶ 観客席の取り換えと舞台照明の全面LED化を行います。令和3年10月から半年間休館し、令和4年4月にオープンする予定です。

自民党議員団

てづか たかひろ 手束 貴裕 議員



「マイナンバーカード取得促進」について

問▶ 別府市のマイナンバーカードの取得率はどうなっているか。

答▶ 別府市のマイナンバーカードの取得率は2月末現在で、約21%となっています。

問▶ 国は令和5年3月までに国民にマイナンバーカードの取得を考えているようだが、別府市の交付体制はどうなっているか。

答▶ 申請のサポート体制は、巡回出張サポートや休日支援などを実施しており、令和3年4月以降も実施予定です。交付の窓口体制については、現在8席設置していますが、4月以降は更に交付専用3席増設し対応する予定です。

問▶ 諸証明書等のコンビニ交付については、いつ頃導入を予定しているか。また、コンビニ交付における証明書等の取得はどのような方法か。

答▶ コンビニ交付の導入については、令和4年2月の利用開始を目指して契約事務等の準備を進めたいと考えています。また、証明書等の取得方法については、コンビニ内に設置されているキオスク端末（マルチコピー機）を使って画面操作により取得できます。

問▶ ICT機器を不登校児童生徒の支援に活用できないか。

答▶ 不登校児童生徒の支援においては、訪問等による対面指導・支援が前提となりますが、ICTを活用した様々な支援が考えられます。課題の配布や回収等、支援方法を検討しているところです。

公明党

ほりもと ひろゆき
堀本 博行 議員



「B-bizLINK」について

問▶ 市から委託料や負担金の支出、職員派遣など、公金の支出を考慮すると公平性、透明性の確保は重要である。B-bizLINKの契約等の基準(ルール)はどうなっているのか。

答▶ B-bizLINKは市との事業関連が深いものの独立した法人であり、その経営に関しては、社員総会、理事会に諮り適正に事業を遂行しています。業者選定については、最大限の事業効果を上げることを目的に、法人内の決裁ルールに基づき適正に発注契約を行っています。この決裁ルールは、B-bizLINKが専門家と相談をしながら基準を設け、役職に応じた権限を明確にしました。契約等に関して、金額、内容によりルールを改定し、法人としての透明性を高めています。B-bizLINKは市が出捐している法人である以上、「経営状況」については報告を受け把握していますが、基準の内容については、B-bizLINKの社員総会、理事会等で決定される「経営方針」に該当することから、法人内部の事案であり、市の関与が及ばないところでもあります。なお、外注に際しては、B-bizLINKが全体的な事業統括を行い、業務の進捗状況をコントロールしており、RWCファンゾーンでは、テントの会場設営、動画制作であれば撮影業務、アサイドでは、建物改修といった必要なもののみを外注し、B-bizLINKが管理監督の下で業務を遂行し成果をあげており、いわゆる「丸投げ」は行われていません。

自民党議員団

あべ いちろう
安部 一郎 議員



「公共施設の在り方」について

問▶ 教育施設や集会場に、Wi-Fi設備を設置すべきではないか。また災害時の避難所に指定されている公共施設についても、情報収集の観点から必要であるとするが如何か。

答▶ 今後は、市全体の公共施設の方針に基づいて、社会教育施設の計画的なWi-Fi設備の設置に向けて調査していきます。

問▶ 多目的グラウンドの整備のため、各スポーツの施設利用について悪循環が生まれている。どのように対応するのか。

答▶ 一部の利用者から、利用に制限があるとの声が寄せられていることは承知しています。今後は、キャンプ利用と市民利用の時期を明確にしたり、キャンプの日程が決まり次第早めにお知らせするなど、バランスの取れた施設の有効活用に取り組んでまいります。また市民の皆様が身近に利用できる新たな施設の確保について研究課題にしたいと思っております。

別府市にはスポーツ広場として使えるようなところがあるので、それぞれの用地を市民のために使えるように再編していただきたい。別府国際観光港多目的広場は現状ではあまり使われていないので、他都市を参考にして球技者が使いやすいように条例改正をしていただきたい。

自民新国会

もり だいすけ
森 大輔 議員



「職員倫理問題・道路問題・花き産業支援」について

問▶ 別府市元職員の贈収賄事件により、公務に対する社会の信頼が大きく失墜している。市の倫理規程には職務遂行上、公務員が利害関係者と会食等を行う際は事前届出が必要と定めているが届出は把握しているのか。

答▶ 記録に残して管理はしていません。

問▶ 届出制度があるのに、なぜ会食等の事前届出を徹底しないのか。なぜ対応を怠ってきたのか。

答▶ 書面による届出はしていませんでしたが、

今回のご提言もあり届出制度の見直しについて検討していきたいと考えています。

問 ▶ 最も注意すべきである職員と利害関係者の関わり状況を把握できていない管理体制に疑問を感じる。倫理管理体制の徹底及び倫理規程の見直しをしなくてよいのか。

答 ▶ 倫理規程の不備な点についてははっきり見直ししていきます。

問 ▶ 富士見通南立石線の整備については、これまでの度重なる延期により、来年3月の完成予定についても「完成は難しい」と諦めの声を聞くが大丈夫か。

答 ▶ 大分県から、事業費は確保できていると聞いていますので、令和3年度の開通に向けて、事業が推進されるものと考えています。

問 ▶ これまで観光関連産業を支援してきたが、他の産業でも支援を必要とする声を聞く。例えば、花き産業はコロナ禍による式典の見送りや簡素化により花の需要は激減し、消費低迷による生産者の生産力の低下が大変懸念されているが、市として消費喚起策を考えられないか。

答 ▶ まずは経営を継続していただくことが最も重要と考えていますので、生産者等と十分協議し効果的な支援策に取り組んでいきます。

自民党議員団

まつかわ みねお
松川 峰生 議員



「上下水道局のコロナ支援対策」について

問 ▶ 行政では様々なコロナ対策支援を行っているが、上下水道局では無料や減免を含む支援策を実施しているのか。

答 ▶ 上下水道局では、別府市のコロナ禍に対しての支援制度のなかで、現在可能な支援策として、コロナウイルス感染症の影響により上下水道料金の支払いが困難になった方から支払い猶予の申込み出があった場合、使用者の方々と個別に相談のうえ、上下水道料金の納付を通常の支払期限後、最長で3ヶ月猶予する対策を行っており、水道料金の無料及び減免は実施していません。

問 ▶ 全国1300水道事業者のうち、1月末で4割弱の約500事業者が、水道料金の無料や減免を実施している。減免額は約547億円、第3波の感染拡大で減免期間を延ばす自治体も

出ているが、企業や家庭では厳しい経済環境のなか、上下水道料金の減免を実施すべきと思うが管理者の見解は。

答 ▶ 現段階ではコロナが終息していない状況のなか、お客様の状況によりましては、さらなる支払期限の延長や分割納入を行うなど、お客様の実情に沿った柔軟な対応をさせていただきたいと考えております。今後は、水道料金の減免の方法や事業に与える影響など、類似団体(別府市上下水道局と同じ事業規模)等の事例も含めて調査研究していきたいと考えています。

行財政改革クラブ

いづみ たけひろ
泉 武弘 議員



「ワンコインバスの運行断念・障害者の表記等」について

問 ▶ 市長の選挙公約であるワンコインバスは運行するのか。

答 ▶ ワンコインバスを導入するには、初期投資に1億円、毎年の経費に1億円かかります。ワンコインバスというより、今充実してきている「ひとまもり・おでかけ支援事業」を拡充していきたいと考えています。

問 ▶ 町内公民館109館のうち、91の公民館に段差があり、車いすでの利用ができない。これまで大型旅館等の耐震補強工事には7億円もの補助金を出しているが、住民活動の拠点である公民館改修の補助金を大幅に増額し、災害避難所として整備できないか。

答 ▶ 庁内でしっかり協議したい。

問 ▶ 障「害」者という言葉に違和感がある。これまで障害を持つ方は、障「害」者と差別され生きてきた。その苦しみを十分に理解せず「害」の字の使用を続けることは許しがたいと述べている。この際、表現を変更してはどうか。

答 ▶ 「害」の表現については、社会の方にバリアがあって、その人に害があるわけではないという意見もあるなど、全国的にもいろいろな見方があると考えています。

問 ▶ 行政文書には、文字が小さくて見づらいものや、カタカナ語や横文字が多く使われており理解できないものがある。英語学が専門の大学教授が、インターネット上に、「なぜバカは"カタカナ語"を使いたがるのか」※と揶揄ともとれる記事を書いている。カタカナ語

を使う場合は補足説明を入れるなど、誰にでもわかりやすい文書や用語を使えないか。

答▶ 緊急性のある情報等は、住民に確実に伝えることが大切ですので、全国の自治体で取り組んでいる事例を参考にしていきたいと思います。

※URL:<https://president.jp/articles/-/23838?page>

自民新国会

おの まさあき
小野 正明 議員



「市営温泉の赤字解消・デジタルファーストの取り組み」について

問▶ 市営温泉の赤字は従前からの課題であるがなかなか解決策が見いだせていない。先般、料金改正をしたが、解決には至っていない。なかでも「北浜温泉テルマス」は、毎年約3,000万円の赤字を計上しており、指定管理者制度の外部評価委員会からも「施設そのものの在り方について検討が必要」との見解が出された。市営温泉施設から外して、売却も含めた検討をすべきだと考えるが如何か。

答▶ 外部評価委員会の意見に従い、指定管理者による維持管理を見直し、売却も含めた方向性を示していきたいと考えています。

問▶ 別府市が取り組んでいるデジタルファーストは全国でも先駆的であり、職員の業務軽減を図ると同時に、LINEを使ったサービスなど市民の利便性向上を図る取り組みも多数みられるようになったが、あまり知られていない。市民がこれらのサービスを受けやすくするには、まず、知ってもらうことが大事である。内容を含めた広報に努めるべきではないか。

答▶ 広く市民に知ってもらえるように、市報やホームページなどを活用した広報に加えて、新聞やケーブルテレビなどのマスメディアを通じたPRにも努めたいと考えています。また、情報を入手された方から周りの人たちへ広げていただければありがたいです。

公明党

いちばら たかお
市原 隆生 議員



「障がい者が安心して住めるまち」について

問▶ 建設中の新亀川住宅には車いすの利用者

にも対応した部屋が設けられている。太陽の家の前の通りや、医療センターに通じる新川沿いの歩道はタイル舗装となっており、長い年月のうちにタイルが剥がれているところもある。随時補修はしていると思うが、そもそもタイル舗装自体、継ぎ目の部分があり車いすでの運行中に微細な振動を受け続けることになる。これは相当なストレスと思われる。景観面では大変に良いものだが、車いすでの移動には適していない。新亀川住宅の完成に向けて、周辺の市道や県道の歩道部分をアスファルト舗装に、できればさらにきめの細くなるカラー舗装を取り入れて、太陽の家周辺を障がい者に優しいまちづくりのモデルにしていきたいが如何か。

答▶ 歩道のタイルにガタつきがあった場合は速やかに補修をするようにしていますが、特に車両の乗り入れ等が多くある個所についてはガタつきが発生する場合があります。今後、車いすの安全で円滑な走行に配慮して対応していきたいと思います。また、県にも趣旨を説明し、歩道の整備を要望していきたいと思います。

日本共産党議員団

ひらの ふみかつ
平野 文活 議員



「コロナ感染対策と経済支援の強化を」について

問▶ 新型コロナウイルス感染症対策で成功している国と失敗している国では極端な格差がある。3月10日現在の死者数の国際集計では台湾10人、ベトナム35人、ニュージーランド26人などに対して、日本は8,412人である。日本は明らかに「政治の失敗・人災」だ。こうしたなかで別府市は「アフターコロナ」ばかり強調し、第4波への危機感が感じられない。市はコロナ収束のカギをどう考えているのか。ワクチン接種と並行して観光・飲食関係者や介護・障がい者・保育関係者に対して、定期的なPCR検査の実施が必要ではないか。

答▶ 今後、変異株による感染が増えることも想定しつつ、当面はワクチン接種の準備に集中し、県や関係団体とも連携を図りながら、適切な対応を取っていきます。

問▶ 昨年1年間、外国人観光客は入国が禁止されていたのに、別府市は海外向けを含め誘客事業に1億円以上も使っている。そういったムダ

なことはやめ、市独自の家賃補助制度の継続などの直接支援や日田市のビジネスサポートセンターのような市内中小事業者が気軽に相談できる体制の整備をすべきではないか。

答 今後を見ずして海外向けの情報発信は必要だと考えています。また、中小事業者からの相談については、産業政策課を窓口にお話をうかがい、必要に応じて専門機関をご紹介しますなど、つなぐ対応をしていきます。

市民クラブ

かとう のぶやす
加藤 信康 議員



「産婦人科の現状と課題」について

問 ここ数年の間に市内の産科が閉院し、数が減少している。市内産婦人科の数は現在何施設あるか。

答 現在、産科及び婦人科の診療を行う医療機関は5医療機関あり、そのうち分娩可能な医療機関は2医療機関となっています。

問 産科が減少している背景は。

答 出生数の減少や産婦人科診療に携わる人材の不足とともに、それに伴う医師の高齢化、また、分娩を取り扱う産科医は他の診療科に比べ長時間労働の傾向で勤務時間が不規則であること、出産年齢の上昇でハイリスクの妊婦も増加し診療負担が増加していること、他の診療科目に比べ訴訟リスクが高いこと等が推察されます。

問 周産期医療の環境を考えると産科の減少は大きな課題だ。今後の重要な課題として検討して欲しいが如何か。

答 病院の減少により妊婦が希望する環境での出産が難しくなる状況は大きな問題であり、別府市民が安心して妊娠、出産できる環境を整えることは重要です。子どもを産み、育てやすい環境づくりに向けて全国の事例等も含め医師会や県とも連携しながら、現状や課題解決について情報共有を図っていきます。

公明党

あらかね たくお
荒金 卓雄 議員



「新型コロナ対策の緊急雇用」について

問 新型コロナウイルス感染症対策のため、

令和2年4月に実施した500人の緊急雇用の実績は。

答 雇用者数は、令和2年6月末の242人をピークに、令和3年3月1日時点では181人となっています。雇用した総人数は321人で総人件費は報酬、共済費等で2億1600万円と予測しています。なお、財源については、当初は一般財源で予算化していましたが、全額を国の臨時交付金で賄える見込みです。

問 緊急雇用事業の成果をどう考えているか。

答 4月に緊急事態宣言が発令された当時は、産業全体に深刻な影響が予想され、市民にも非常に大きな不安がありました。別府市では、本業と兼業できる最大限の柔軟な雇用形態を特別に設定し、500人という大規模な緊急雇用事業を行いました。過去に例のない観光客の減少で、深刻な影響を受けましたが、国のGoTo事業、県や別府市独自の様々な対策もあり、緊急の雇用者数は6月以降減少し、総人数でも321人ととどまりました。この間、できるだけ解雇を回避し別府市の人材を守ること、市民の雇用不安を緩和することについては、大きな効果があったと考えています。

問 令和3年度の緊急雇用事業はどうなるか。

答 今後も、施設の消毒などの業務は感染症対策として必要です。感染症対策業務の従業員として4月から半年間、100名の雇用を想定し予算化しています。100名の募集に対し125名の応募があり、113名に採用を通知したところです。

////////// 請願・陳情 //////////

どなたでも市議会に請願・陳情することができます。請願とは、国や県・市に対し要望や意見を述べることをいいます。別府市議会に請願書を提出するには別府市議会議員の紹介が必要になります。

詳しくは別府市議会ホームページをご覧ください。か、議会事務局までお問合せください。

なお、令和3年第2回定例会の請願の受付期限は6月3日(木)17時までです。

令和3年第2回 市議会定例会会期日程(予定)

6月14日	議案上程
17日	議案質疑・委員会付託
18日	常任委員会審査
21~24日	一般質問
29日	委員長報告、討論、表決

※日程は変更することがあります。

委員会構成

3月定例会において、下記のとおり選任されました。

広報広聴委員会

(所管事務) 議会報「別府市議会だより」やホームページの編集事項の協議、「市民と議会との対話集会」の運営についてなどを担当します。

(委員名) ◎安部 一郎 ○穴井 宏二
 榊田 貢 日名子 敦子 美馬 恭子
 森 大輔 加藤 信康

副議長としての職務を遂行し、市民生活の向上と市政の発展のため、誠心誠意、努力してまいります。



副議長
小野 正明

副議長
就任

(◎委員長 ○副委員長、議席番号順で掲載)

委員会名	所管事項	委員名
総務企画消防委員会(8名)	行財政・組織・人事・事務管理・防災、消防・救急体制の充実など	◎阿部 真一 ○榊田 貢 美馬 恭子 加藤 信康 松川 峰生 堀本 博行 山本 一成 首藤 正
観光建設水道委員会(8名)	観光・商工業・農林水産業などの振興と活性化、都市計画及び開発の推進、上水道・下水道・道路・公園・市営住宅の整備など	◎三重 忠昭 ○日名子 敦子 手束 貴裕 小野 正明 松川 章三 市原 隆生 野口 哲男 泉 武弘
厚生環境教育委員会(8名)	福祉施策の充実、健康の増進、国民健康保険の運営、環境対策、学校教育の充実、社会教育の推進など	◎荒金 卓雄 ○森 大輔 安部 一郎 森山 義治 穴井 宏二 黒木愛一郎 平野 文活 河野 数則
議会運営委員会(7名)	市議会の円滑な運営を図るため、議事の運営、その他必要な事項を協議します。	◎山本 一成 ○安部 一郎 榊田 貢 森山 義治 荒金 卓雄 平野 文活 河野 数則

放送日時
 本会議開催日(午前10時から)

放送内容
 議案の提案理由説明、議案質疑、一般質問など

放送メディア
 CTBメディアとんぼチャンネルで生中継します。

ケーブルテレビでの中継
 C.T.Bメディアとんぼチャンネルで生中継します。

インターネットでの中継
 別府市議会ホームページ
<https://www.city.beppu.oita.jp/gikai/>

本会議を中継しています

別府市議会では、市民の皆さまに議会をより身近に感じていただけるよう、ケーブルテレビとインターネット、スマートフォン、タブレット端末による本会議の生中継と録画中継による本会議の放送を行っています。

※議会中継は公式記録ではありません。公式記録は本会議後に調製する会議録となります。

放映してあります。

週間後から約2年間録画中継を放映してあります。

にアクセスしてお入りください。(また、全日程終了後、概ね1週間後から約2年間録画中継を放映してあります。)

※議会中継は公式記録ではありません。公式記録は本会議後に調製する会議録となります。



編集後記

予算・決算特別委員会、令和3年度第1回定例会が終わりました。新たな予算が生まれ新年度が始まります。新型コロナウイルス感染症の影響により、市税は、6億1千万円の減収見込みとなり、厳しい財政運営となります。今議会では、市民生活に支障がでないよう、コロナ禍における医療、福祉、教育の在り方及び観光経済政策について、様々な観点から論議を重ね、必要な改善提案を求めました。また議員で構成される政策研究会は、執行部に対して「別府市における市税の在り方に係る提言」を行いました。

私たち議員は、皆様の意見や要望を整理し、市政に反映させるのが務めです。広報広聴委員会では、市民の多様な意見を的確に把握できるよう、新しい広報の在り方、広聴の在り方を検討し、市民と議員、市民と議会をつなぐ窓口として活動してまいります。

今後とも信頼される議会をめざし、市民の皆様とともに歩みます。

別府市議会広報広聴委員会
 委員長 安部 一郎